

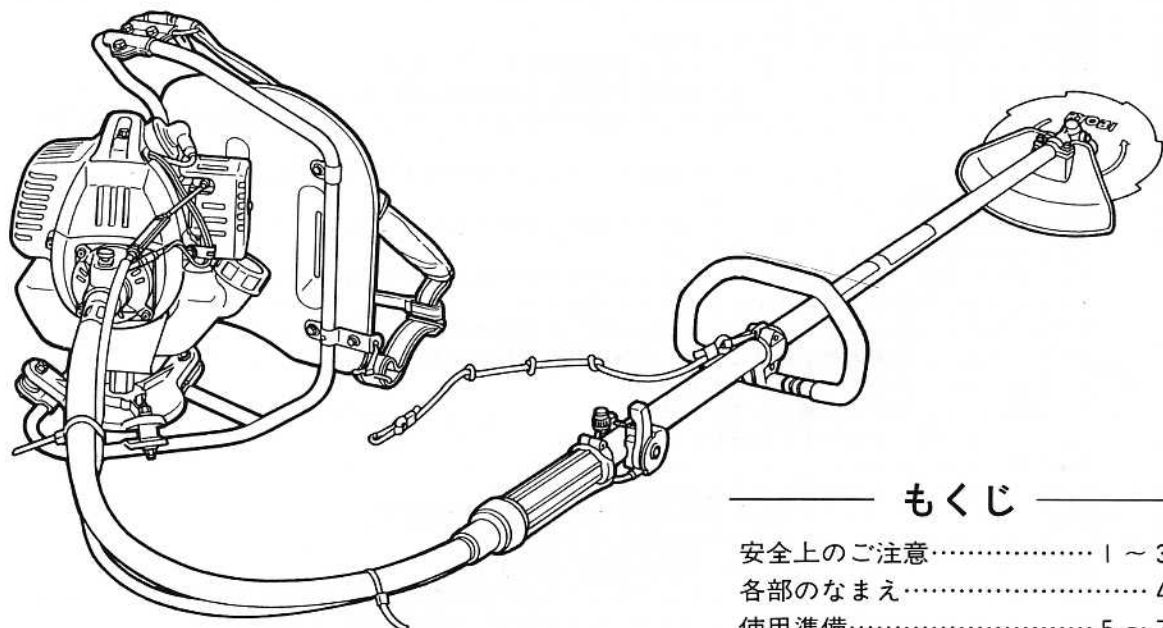
RYOBI®

エンジン刈払機(背負式)

EKB-256L

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

安全上のご注意	1 ~ 3
各部のなまえ	4
使用準備	5 ~ 7
始動	8 ~ 10
運転、停止、使用方法	11
点検と整備	12 ~ 13
保管	13
故障かなと思ったら	14

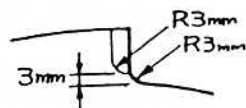
●刈払機ご使用に際して

先にエンジン工具として共通の注意事項を述べましたが、刈払機をご使用の際には、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

▲ 警告

ご使用前は

1. 刈刃は指定のもの以外使用しないでください。けがの原因になります。
 - ・交換時は、必ず指定の純正部品を使用してください。
 - ・ナイロンカッターを使用するときは、指定の柔軟性のある非金属コードのみを使用してください。針金などは、絶対に使用しないでください。
 - ・刈刃はよく目立てされたものを使用してください。
刈刃を目立てするときは、割れ防止のため、必ず刃元に丸みを付けてください。(上図参照)
 - ・少しでも曲がり、ゆがみ、亀裂、折れ、損傷がある刈刃は新品に交換してください。
 - ・刈刃取付け後、刈刃を手で回して、押えボルトが確実に締まっているか、刈刃にガタツキ、振れなどがなければ確認してください。
適切に取付けられていないと刈刃が飛び、作業中、または周囲の人に重傷を負わせることがあります。
2. 刈刃の取付け、交換時には、必ず手袋をしてください。
 - ・誤って手が滑り、刈刃でけがをする恐れがあります。
3. セーフティカバーは、必ず指定のものを使用してください。刈りくずが飛散し、けがの原因になります。
 - ・指定する位置に取付け、確実に固定しているか確認してください。



ご使用中は

4. エンジンを始動するときは、刈刃が地面に触れないようにしてください。
 - ・始動と同時に刈刃が回転し、けがの原因になります。
5. 作業中は、刈刃部分を腰より上にあげないでください。
 - ・バランスを失い、けがの原因になります。
6. 作業中は、半径15m以内に人や動物を近づけないでください。刈刃が当り、けがの原因になります。
 - ・これらが接近したときは、直ちにエンジンを停止し、刈刃の回転を止めてください。
 - ・同一作業場で、同時に作業するときは、15m以上の間隔を取り、監督者をおいてください。
7. 作業中、刈刃を石、金属、切株に当てないようにしてください。
 - ・刈刃が割れ、破片が飛散し、けがの原因になります。
 - ・小石などが当たると、小石がはね飛ばされ、けがの原因になります。
 - ・回転中の刈刃が固いものに接触した場合、反動が起こり、機械や作業者が激しく突かれます。
そのため、作業中は機械を制御できなくなり、けがの原因になります。
かん木などの木を切るときも、反動で機械が振回されることがあります。
これを防止するため、刈刃の左30°(11時の方向)の所をかん木に当て、真っ直ぐ切込んでください。(右図参照)
 - ・切株などに刈刃が食込んだときは、必ずエンジンを停止してから、刈刃を切株などから離してください。
8. 刈刃部に草などが巻付いたときには、必ずエンジンを停止した後、刈刃の回転が停止したことを確認してから、草などを除去してください。
 - ・草などを取除いたはずみで不意に刈刃が回転し、けがの原因になります。
9. 作業を終えるときは、必ずエンジンを停止し、刈刃の回転が停止したことを確認してから機械を降ろしてください。
 - ・エンジンを停止した後も、刈刃が回転し続けることにより、けがをすることがあります。



▲ 注意

1. 保管や持運びのときは、必ず刈刃に刈刃カバーを取付けてください。
 - ・刈刃が人に当り、けがの原因になります。
2. 草が高く残っているときは、まず高刈りをし、障害物を確認してください。
 - ・隠れた障害物に刈刃が当り、けがの原因になります。
3. 必ずショルダーバンドを使用し、ショルダーバンドとハンドルを作業しやすい位置に調整してください。
 - ・より安全に作業していただくためです。

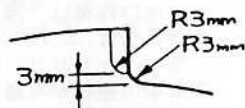
●刈払機ご使用に際して

先にエンジン工具として共通の注意事項を述べましたが、刈払機をご使用の際には、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

△ 警告

ご使用前は

1. 刈刃は指定のもの以外使用しないでください。けがの原因になります。
 - ・交換時は、必ず指定の純正部品を使用してください。
 - ・ナイロンカッターを使用するときは、指定の柔軟性のある非金属コードのみを使用してください。針金などは、絶対に使用しないでください。
 - ・刈刃はよく目立てされたものを使用してください。
刈刃を目立てするときは、割れ防止のため、必ず刃元に丸みを付けてください。(上図参照)
 - ・少しでも曲がり、ゆがみ、亀裂、折れ、損傷がある刈刃は新品に交換してください。
 - ・刈刃取付け後、刈刃を手で回して、押えボルトが確実に締まっているか、刈刃にガタツキ、振れなどがなければ確認してください。
適切に取付けられていないと刈刃が飛び、作業者、または周囲の人に重傷を負わせることがあります。
2. 刈刃の取付け、交換時には、必ず手袋をしてください。
 - ・誤って手が滑り、刈刃でけがをする恐れがあります。
3. セーフティカバーは、必ず指定のものを使用してください。刈りくずが飛散し、けがの原因になります。
 - ・指定する位置に取付け、確実に固定しているか確認してください。



ご使用中は

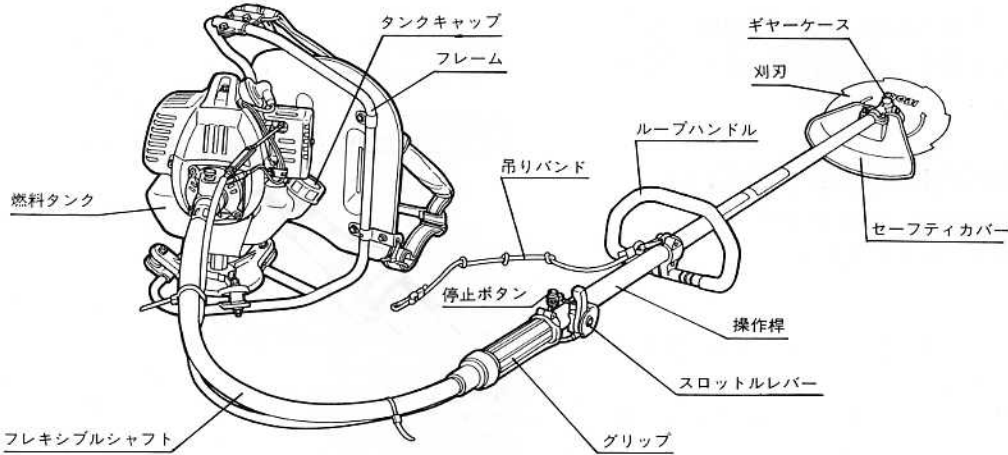
4. エンジンを始動するときは、刈刃が地面に触れないようにしてください。
 - ・始動と同時に刈刃が回転し、けがの原因になります。
5. 作業中は、刈刃部分を腰より上にあげないでください。
 - ・バランスを失い、けがの原因になります。
6. 作業中は、半径15m以内に人や動物を近づけないでください。刈刃が当り、けがの原因になります。
 - ・これらが接近したときは、直ちにエンジンを停止し、刈刃の回転を止めてください。
 - ・同一作業場で、同時に作業するときは、15m以上の間隔を取り、監督者をおいてください。
7. 作業中、刈刃を石、金属、切株に当てないようにしてください。
 - ・刈刃が割れ、破片が飛散し、けがの原因になります。
 - ・小石などが当ると、小石がはね飛ばされ、けがの原因になります。
 - ・回転中の刈刃が固いものに接触した場合、反動が起こり、機械や作業者が激しく突かれます。
そのため、作業者は機械を制御できなくなり、けがの原因になります。
かん木などの木を切るときも、反動で機械が振回されることがあります。
これを防止するため、刈刃の左30°(11時の方向)の所をかん木に当て、真っ直ぐ切込んでください。(右図参照)
 - ・切株などに刈刃が食込んだときは、必ずエンジンを停止してから、刈刃を切株などから離してください。
8. 刈刃部に草などが巻付いたときには、必ずエンジンを停止した後、刈刃の回転が停止したことを確認してから、草などを除去してください。
 - ・草などを取除いたはずみで不意に刈刃が回転し、けがの原因になります。
9. 作業を終えるときは、必ずエンジンを停止し、刈刃の回転が停止したことを確認してから機械を降ろしてください。
 - ・エンジンを停止した後も、刈刃が回転し続けることにより、けがをすることがあります。



△ 注意

1. 保管や持運びのときは、必ず刈刃に刈刃カバーを取付けてください。
 - ・刈刃が人に当り、けがの原因になります。
2. 草が高く残っているときは、まず高刈りをし、障害物を確認してください。
 - ・隠れた障害物に刈刃が当り、けがの原因になります。
3. 必ずショルダーバンドを使用し、ショルダーバンドとハンドルを作業しやすい位置に調整してください。
 - ・より安全に作業していただくためです。

各部のなまえ



仕様

型 式			EKB-256L
寸 法	長さ×幅×高さ	mm	2530×300×370
重 量		kg	7.3 (8.0)
エンジン	形 式		空冷2サイクル単シリンダ
	排 気 量	cc	25.6
	最 大 出 力	PS	1.4
	キ ャ プ レ タ		ダイヤフラム式
	点 火 方 式		電子点火方式、フライホイールマグネット
	ス パ ーク プ ラ グ		NGK BM-6A
燃 料	始 動、動 力 伝 達		リコイルスタータ、自動遠心クラッチ
	混 合 比		25 (ガソリン) : 1 (2サイクル専用エンジンオイル)
	タ ン ク 容 量	ℓ	0.6 (連続運転、約45分)
刈払装置	操 作		ループハンドル、固定式レバー
	刈 刃	mm	8枚刃 (230×25.4×1.4t)

※記載重量には、刈刃、刈刃カバー、セーフティカバー、ハンドルを含んでおりません。
()内は、燃料を除く全装備重量です。

通常付属品

- ツールセット (⊕ドライバー付ソケット、⊖ドライバー、六角棒スパナ(4mm)、スパナ(8mm、10mm))
- 刈刃 ● 刈刃カバー ● 吊りバンド ● コードストラップ(2本) ● 保護メガネ

別販売品

- チップソー
山林の下刈用。
- 丸のこ
山林の下刈や、かん木刈用。
- 4枚刃
やわらかい雑草用。
- ナイロンカッター
際刈や石の多い所、芝生の刈込み用。
- あんぜんローター
ナイロンカッターと同じですが、一定寸のナイロンコードを差換えて使用するタイプです。
- プラカッター
やわらかい雑草から、芝生の刈込み用。

用 途

- 芝生からかん木までの刈払作業。

刈刃適応表

用途 \ 刃物	チップソー	丸のこ	8枚刃	4枚刃	ナイロンカッター あんぜんローター	プラカッター
下 刈	○	○				
雑草刈			○			
雑草刈				○		
芝 刈					○	○
際 刈					○	○

使用準備

輸送のため、エンジン部と操作桿部は、別々に梱包してあります。次の手順に従って組立ててください。

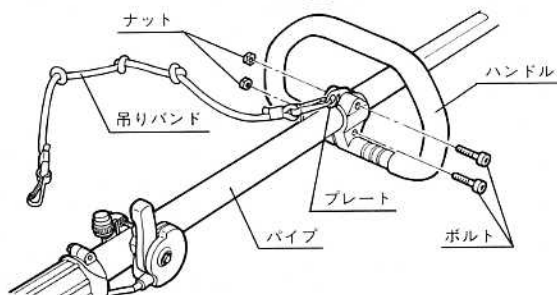
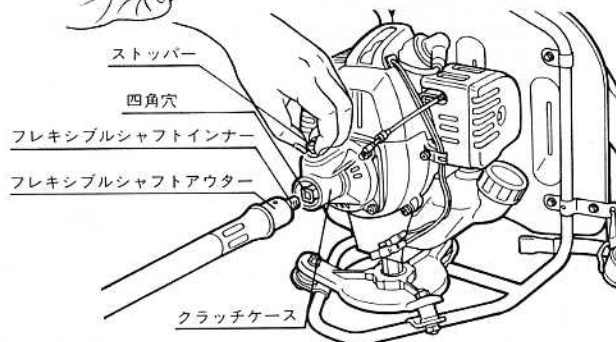
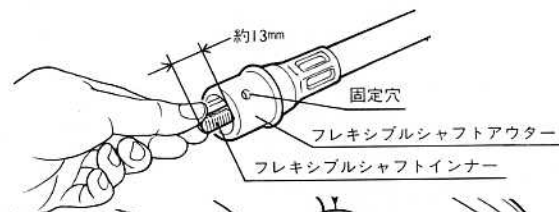
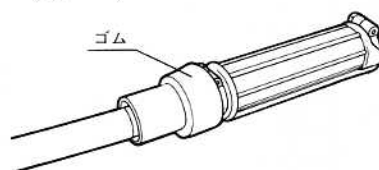
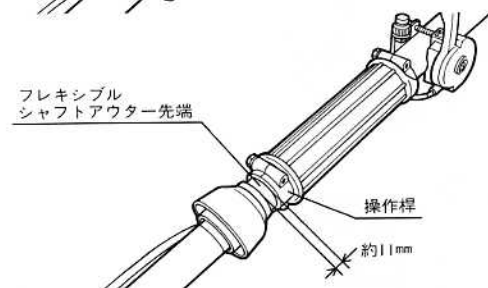
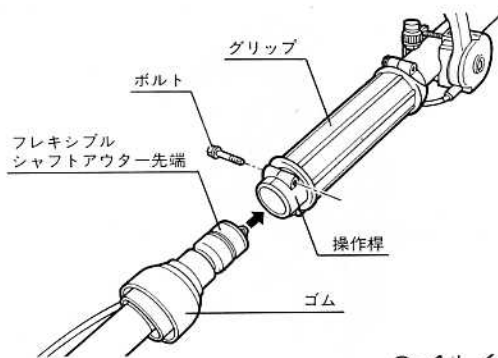
●フレキシブルシャフトの取付け

1. グリップのボルトを、付属の⊕ドライバー付ソケットを使用し取外してください。
2. フレキシブルシャフトアウターの先端を、操作桿に差込んでください。
フレキシブルシャフトアウター先端の金具が、操作桿から約11mmのぞくくらいが正規です。
3. 取外したボルトを締付けてください。
4. ゴムを裏返し、フレキシブルシャフトと操作桿の結合部が隠れるようにしてください。
5. 反対側のフレキシブルシャフトアウターからのぞいた、フレキシブルシャフトインナーを手で回転させ、フレキシブルシャフトインナーの四角と、操作桿の四角穴を合わせて、フレキシブルシャフトインナーを納めてください。
フレキシブルシャフトインナーがフレキシブルシャフトから約13mmのぞくくらいが正規です。
6. フレキシブルシャフトインナーの四角と、クラッチケースの四角穴を合わせ、ストッパーを引上げながら、フレキシブルシャフトアウターを、クラッチケースに差込んでください。
7. ストッパーから手を放し、ストッパーとフレキシブルシャフトアウターの固定穴を合わせてください。

(注)
フレキシブルシャフトインナーを抜き落さないようにしてください。

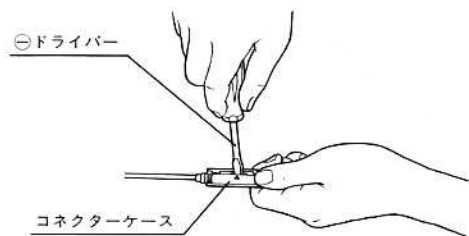
●ハンドルの取付け

1. ハンドル取付位置ラベルが隠れるように、ハンドルをパイプに組付けてください。
2. ナットを固定穴にはめ込み、付属の六角棒スパナでボルトを締付けてください。
3. ハンドル取付位置ラベルは、取付位置の目安です。作業のしやすい位置に、ハンドルを合わせてください。
4. 吊りバンドを使用する場合は、図のように、バンド片側のプレートを、ボルトで締付けてください。

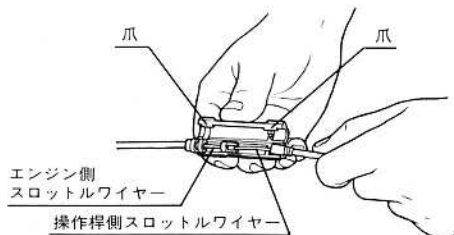


●スロットルワイヤーの取付け

1.コネクターケースの▼部に付属の⊖ドライバーを差込んで開けてください。

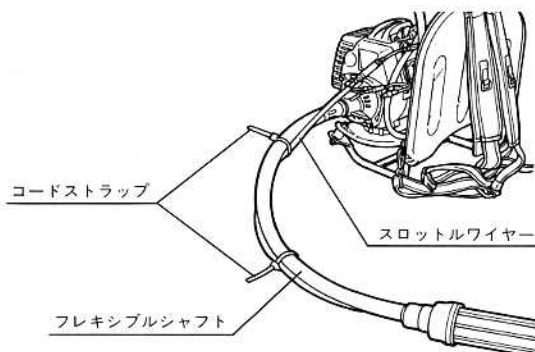


2.操作桿側のスロットルワイヤー先端をエンジン側スロットルワイヤー先端に引っ掛けてください。



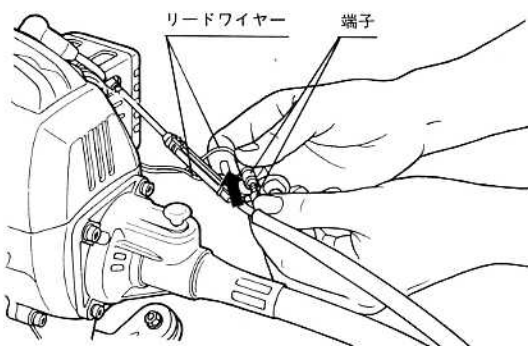
3.コネクターケースをカチッと音がするまではめ込んでください。
両側に爪がありますので、確実にはまっているか確認してください。

4.スロットルワイヤーをフレキシブルシャフトに添わせ、コードストラップで締付け固定してください。(2ヶ所)



●リードワイヤーの取付け

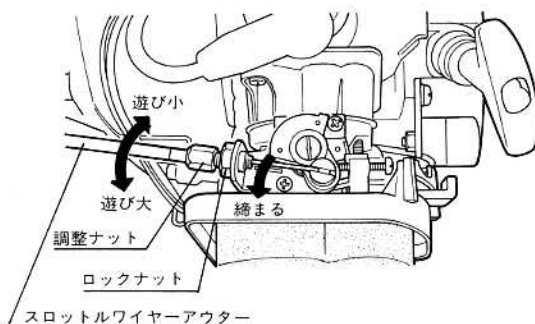
●エンジン側のリードワイヤー端子と、操作桿側の端子を接続してください。



●スロットルワイヤーの遊び調整

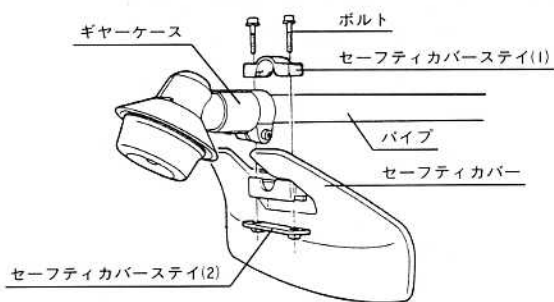
1.ロックナットを緩め、調整ナットを回して、スロットルワイヤーアウターの遊びが0.5～1.5mmになるように調整してください。

2.緩めたロックナットを締めてください。



●セーフティカバーの取付け

- 1.セーフティカバー本体の裏面にある溝に、セーフティカバースティ(2)をはめ込んでください。
- 2.セーフティカバー本体を、ギヤークースの端面に合わせてください。
- 3.セーフティカバースティ(1)をパイプの上に置き、セーフティカバー本体とともに、2本のボルトで均等に締付け固定してください。
付属の六角棒スパナを使用し締付けてください。

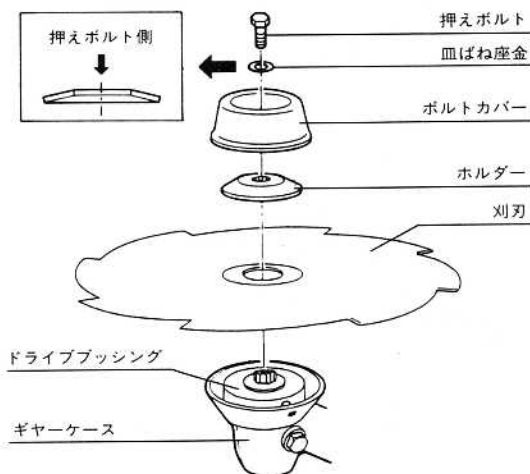


●刈刃の取付け

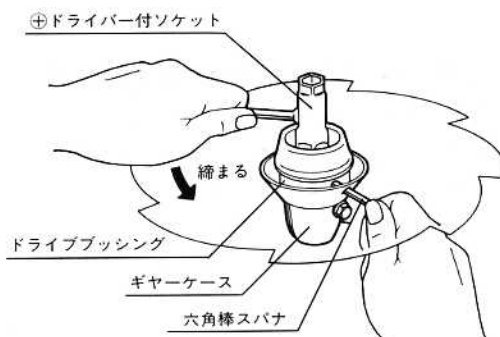
⚠ 警告

- ・刈刃取付け後、刈刃を手で回して、押えボルトが確実に締まっているか、刈刃にガタツキ、振れなどがいないか確認してください。
- ・押えボルトは、緩み防止のために、特殊な加工がしてあります。最後まで付属の⊕ドライバー付ソケットを使用し締付けてください。

- 刈刃の取付けは、右図の順に確実に取付けてください。
- 皿ばね座金は、必ず図のような向きにしてください。



- 刈刃の取付けは、付属の六角棒スパナを、ギヤークースとドライブブッシングの固定穴に、同時に通して固定し、軸が回らないことを確認してから行ってください。
- 刈刃の押えボルトは逆ネジ=左ネジです。
付属の⊕ドライバー付ソケットを使用し締付けてください。
(締付けは、反時計回りの方向に回してください。)
※参考締付トルク=1.5~2.0kg・m



警告

- ・始動するときは、周囲に人、動物、障害物がないか確認し、機械をしっかりと固定してください。
- ・エンジン始動と同時に刃物が回り出しますので、安全を十分に確かめてから始動してください。

燃料は正しい比率(ガソリン25に対し、2サイクル専用エンジンオイル1)で混合し、燃料タンクに入れてください。

混合燃料の作り方

- 混合容器にガソリンと2サイクル専用エンジンオイルを入れた後、よく振って作ります。

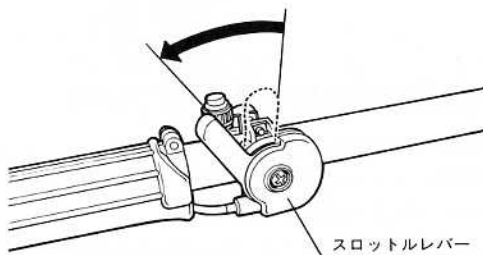
(注)

- ・2サイクル専用エンジンオイル以外のオイル、および正しい比率以外の燃料は、絶対に使用しないでください。エンジン焼付き、またはエンジン不調の原因となります。
 - ・購入後、2～3ヶ月以上経過した古い燃料は、エンジン不調の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- また夏季などの高温下では、ガソリンが蒸発し、混合比が変わる恐れがありますので、混合燃料は1日の使用に見合った量を用意するようにしてください。

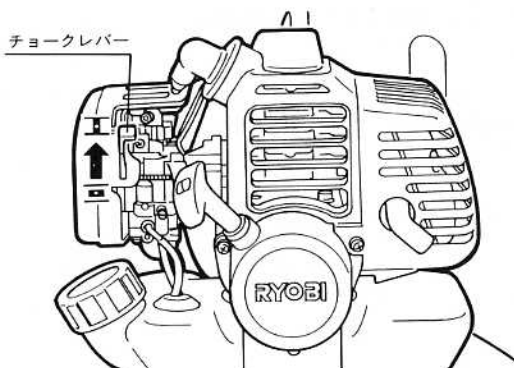


●始動

1. スロットルレバーを $\frac{1}{3}$ ～ $\frac{1}{2}$ 程度開いてください。



2. チョークレバーを全閉の位置(Ⅱ)にしてください。
※エンジンが暖まっているとき(停止後、約15分以内)は、チョークレバーの操作は不要です。



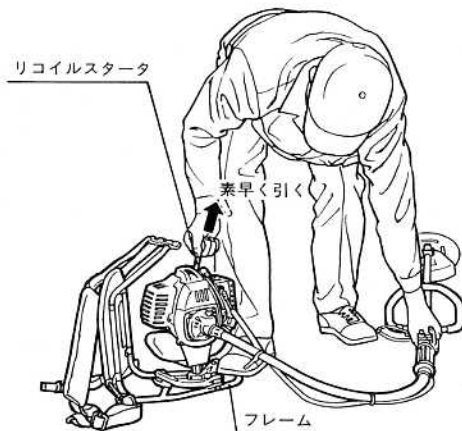
4. 図のように、左手で操作桿を、足でフレームを押えて、リコイルスタータ(ロープ)を、最初の爆発音がするまで素早く引いてください。

“ブルン”という爆発音がします。

(エンジンはかかりません。)

(注)

リコイルスタータのロープの全長を確認した後、全長の8割くらいで始動するように心掛けてください。全部を引いてかけると、ロープを引きちぎる恐れがあります。

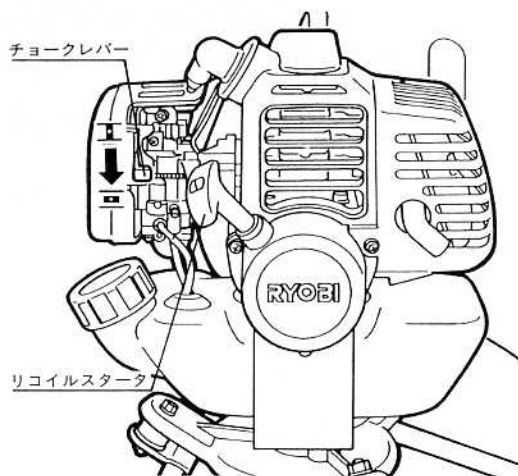


5. チョークレバーを全開の位置(☐)にしてください。再度リコイルスタータ(ロープ)を引いてエンジンを始動させてください。

(注)

始動しない場合は、前頁2項(チョークレバーを全開)に戻り、再度操作を繰返してください。

6. 始動したら30秒くらい暖機運転をしてください。その後スロットルレバーを戻し、低速運転(アイドルリング)にしてください。



●燃料の吸込み過ぎについて

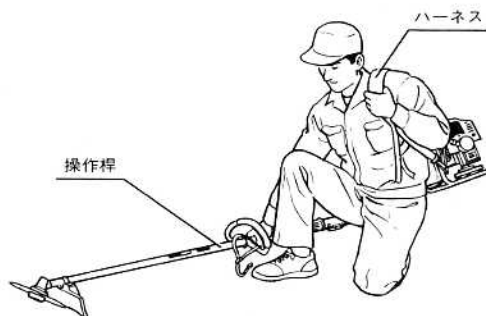
- 最初の爆発音を聞逃したままで(チョークレバー全開)、リコイルスタータ(ロープ)を何回も引くと、燃料の吸込み過ぎとなります。

この場合は、スロットルレバーを一杯に開き、チョークレバーも全開とした状態で、リコイルスタータ(ロープ)をエンジンがかかるまで(10~15回くらい)素早く引いてください。

- マフラーから燃料が出てくるほどの大量の吸込み過ぎの場合は、スロットルレバー、チョークレバーを全開とし、再度リコイルスタータ(ロープ)を約30~40回素早く引き、始動させてください。

●背負い方

1. 右手で操作桿を持ち、左手で左側のハーネスを持ち上げ肩に掛けます。



2. 刈刃、エンジンのバランスに注意しながら立ち上がります。



3. 操作桿を左手に持ちかえ、右側のハーネスを右肩に掛けます。



4. 背当てが腰のやや上になるように、左右のハーネスの長さを調節して身体になじませてください。

5. フロントバックルを、胸の位置ではめ合せてください。

6. 吊りバンドを、ハーネス左肩にある、吊りバンド取付金具に引っ掛けてください。作業時バランスがとれるように、吊りバンドの長さを調節してください。長いときは、吊りバンドを結んで短くしてください。



運 転、停 止

● 運 転

△ 警 告

- ・作業中は、半径15m以内に人や動物を近づけないでください。
- ・刈刃部に草などが巻付いたときには、必ずエンジンを停止させてから、草などを除去してください。

1. 作業する前にスロットルレバーを少し開き、エンジン回転を上げ、刈刃が動くことを確認してください。
2. 低速運転(アイドリング)からスロットルレバーを徐々に開き、エンジンの回転を上げてゆきます。作業をするときは、エンジン回転を上げてから行なってください。

(注)

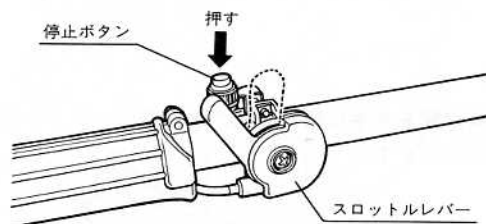
作業しないときは、中速以上の回転、および空ふかし(無負荷高速回転)をしないでください。
故障の原因となります。

● 停 止

△ 警 告

- ・作業中はもとより、エンジン停止直後は、マフラーやエンジン本体など、高温部に触れないようにしてください。

1. スロットルレバーを戻し、低速運転(アイドリング)をしばらく続け、エンジンを冷やしてください。
2. 停止ボタンを、エンジンが完全に停止するまで押してください。



使 用 方 法

● 基本的な作業

1. ハンドルを両手でしっかり握り、片足を一步踏込んで(刈刃の回転方向に合わせて)、体重の移動が容易で安全な体勢を作ります。
2. スロットルレバーを開き、刈刃の回転が十分上がってから草刈作業を開始します。
3. 操作桿だけを振り回さず、腰の回転によって操作します。
刈刃が左回転のため、右から左に移動するようにして草刈作業を行ないます。

(注)

間違った刈刃や、指定サイズ以外の刈刃で草や木を切ると、本機のパイプやエンジンを破損させる恐れがあります。



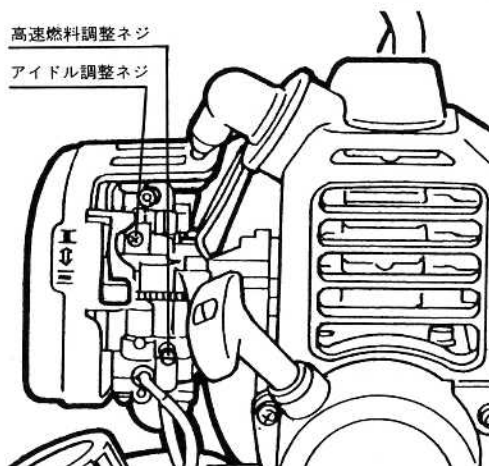
点検と整備

お買い上げいただきました刈払機を、いつまでも調子よく保つために、定期点検を行なってください。

点検項目 \ 点検時間	作業前	作業後	50時間毎
キャブレタ	○(点検)		
エアクリーナ	(○点検、清掃)		
ギヤーケース			○(給油)
スパークプラグ			(○点検、清掃)

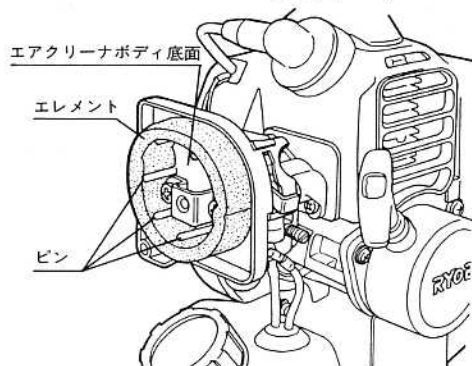
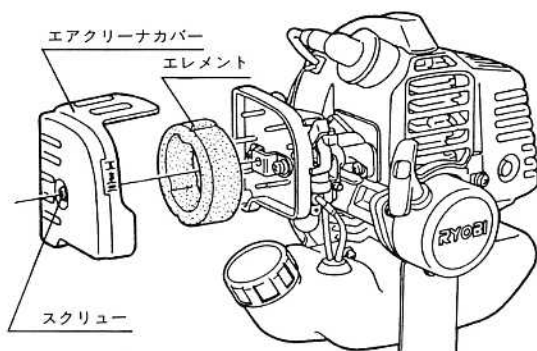
●キャブレタ

- 出荷時に燃料が最適に供給されるように調整してあります。むやみに高速燃料調整ネジを動かさないでください。エンジンの焼付き、回転不調、始動不良の原因になります。
- 高速燃料調整ネジ
標準値は高速燃料調整ネジを全閉（右に軽く締付けた位置）にした所から1/4回転戻した（左に回した）位置です。
その位置から±1/4の範囲で調整してください。
- アイドル調整ネジ
アイドル調整ネジを左右に回し、低速運転（アイドルリング）を調整してください。
アイドル調整ネジは、右に回すと回転が上がります、左に回すと回転が下がります。
刈刃が動きはじめるやや前（停止状態）で、エンジンが停止しない状態としてください。



●エアクリーナ

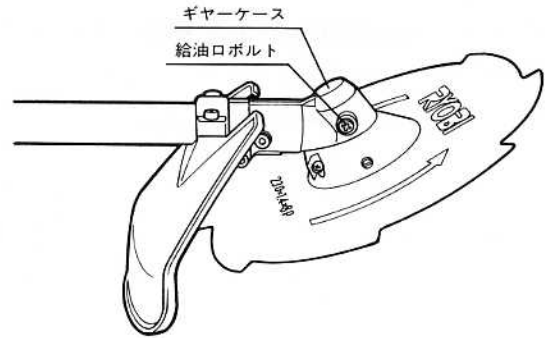
1. エアクリーナのスクリューを緩め、エアクリーナカバー、エレメントを取外してください。
2. エレメントの汚れを点検し、軽くゴミを払うか、汚れのひどいときはガソリンで洗ってください。
3. エレメントは、ピンの外側に添わせ、エアクリーナボディの底面に密着させるように取付けてください。



●ギヤーケース

- 給油口ふたのボルトを、付属の⊕ドライバー付ソケットを使用し、取外してからグリスを補給してください。

[グリスは、コスモダイナマックスNo.2を使用してください。]

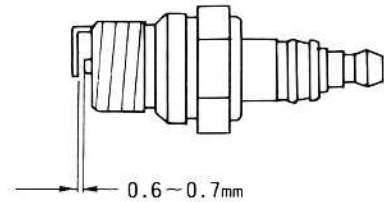


●スパークプラグ

- スパークプラグの適正な電極間隔は0.6~0.7mmです。

常に適正な間隔を保ち、カーボンや油などによる汚れに注意して、清掃のうえ使用してください。

[スパークプラグの交換の際には、NGK BM-6A] またはチャンピオン CJ8 を使用してください。]



保管

本機を10日以上使用しない場合は、下記の操作を行なった後、保管してください。

1. タンクキャップを外し、タンク内に残った燃料を出してください。
2. エンジンを始動させ、自然にエンジンが停止するのを待ちます。
(キャブレタ内に残った燃料を空にするためです。)
3. エアクリーナを清掃すると同時に、各部の汚れを取除いてください。
4. 刈刃は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
5. 刈刃に刈刃カバーを取付けてください。
6. エンジンが十分に冷えていることを確認してから、乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所、または鍵のかかる所に保管してください。

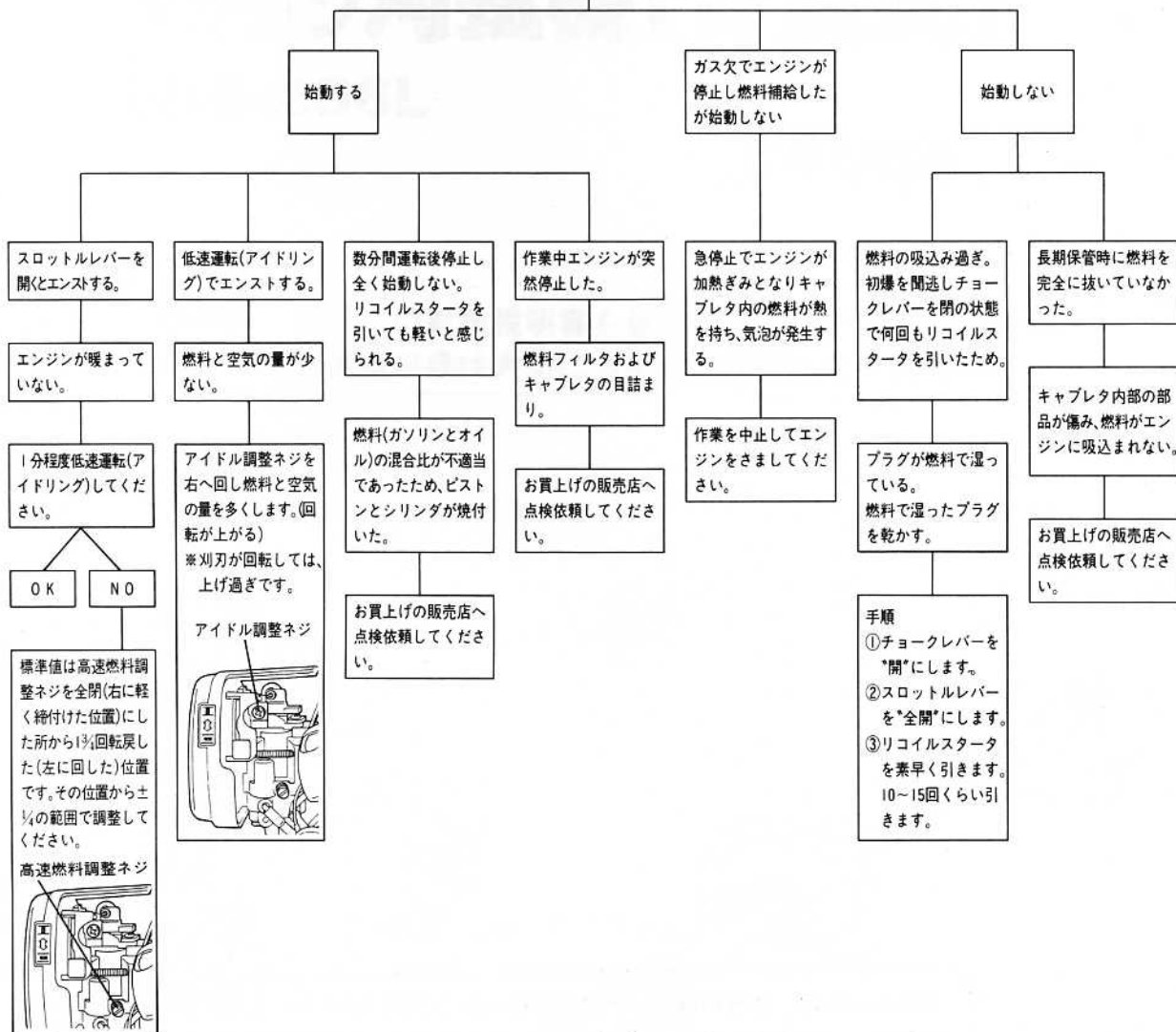
●本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店、またはリョービ販売(株)営業所で修理してください。

その他部品のご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次のチェックリストにそって点検を行なってください。

エンジントラブル時のチェックリスト



部品のご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明の点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合せください。

※改良のため、お断わりなく仕様、外観などを変更することがあります。

発売元

リョービ販売株式会社

製造元

リョービ株式会社

